

土石少災害の

可能性と

避難経路を

調べよう

五年 米田 桜

きっかけ

ニュースや新聞記事で、西日本豪雨を見て、もし、自分の町も災害にあった時、どこに土石流が流れるきけんがあるのかを調べ、確実ににげられるようにしようと思った。

北國新聞 2018年(平成30年)7月11日(水曜日) 第4版

西日本豪雨

避難指示決壊確認4分前

40人超犠牲の倉敷・真備

達する前に勧告や指示を出したという。

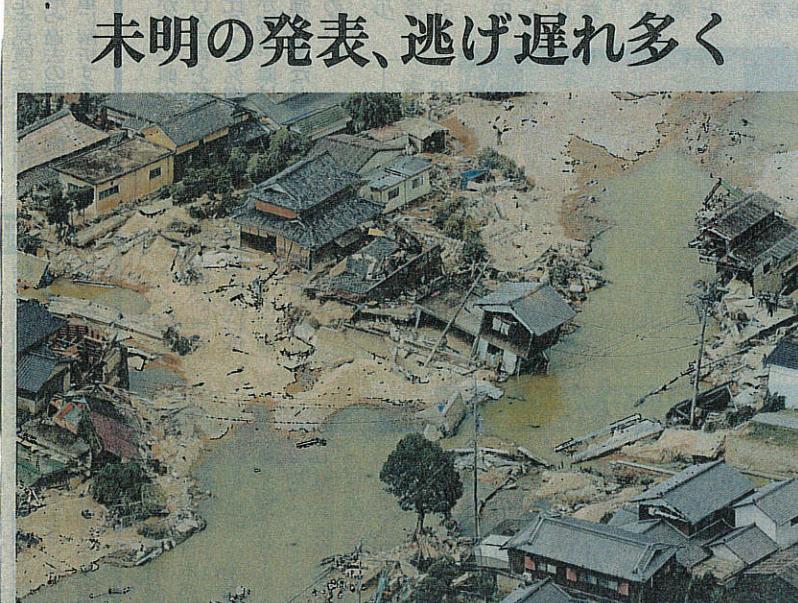
伊東市長は8日の記者会見で「水位が激しく上昇し

豪雨による死者数	
岐阜	1人
滋賀	1人
京都	4人
高知	2人
兵庫	2人
岡山	54人
佐賀	1人
鹿児島	2人
計	157人

西日本豪雨で川の堤防が決壊して浸水し、多数の死者が出た岡山県倉敷市真備町地区で、被害が大きかった川の北側に市が避難指示を出したのは、最初の堤防決壊が確認される約4分前だったことが10日、分かった。市は、想定外の増水で対応に問題はなかったとの認識だが、降雨のピークが夜から未明だったことも重なり、結果的に多くの住民が逃げ遅れた。

【7・10・33面に関連記事】

国土交通省が川の堤防決壊を確認したのは少なくとも3カ所で、高梁川支流の小田川の2カ所と、小田川に流れ込む高馬川の1カ所。小田川の北側を中心に、真備町地区の面積の約3割に当たる約12000秒が浸水した。家屋を取り残されるなどし、高齢者を中心とする子どもを含む少なくとも40人以上が犠牲となった。市は6日午後10時に地区的金城に避難勧告を発表。午後11時45分に小田川の南



水が引き地面が見えてきた岡山県倉敷市真備町地区

=10日午前9時45分(共同通信社ヘリから)

た。大変残念な状況だ」と述べ、想定外の事態だったと強調した。市は決壊時に想定される

「5日以降」※共同通信まとめ

目的

ほくたちが“住んで”いる
町に土砂災害が起き
たら、どこか“きけんか、
どこににげれば良いか、
などを調べて、すぐに行動
できるようにする。

調査方法

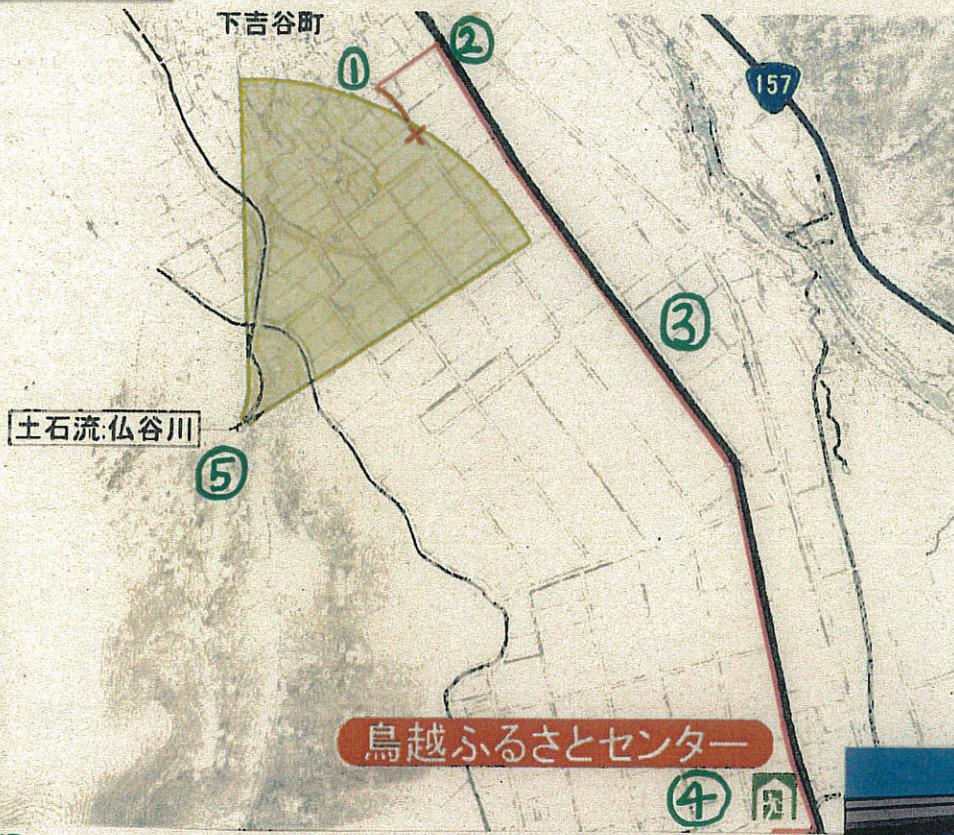
- ・市役所に資料があるか
聞きに行く。
- ・きけんな場所を見に行く。





鳥越ふるさとセンターに行くために
県道の歩道を通る。

① 近道を通ると、土石流の
はん団なので、左の道を
通る。



⑤ こかで土石流が発生しやすい場所だ!
どうして仏谷川で土石流が起きやすいのだろう?

ハザードマップを見ると、仏谷川以外に近くに川がなく、周りの水が全てここに流れてしまうから、土石流が起きやすいのかな?と思つた



③ 鳥越ふるさとセンターにつくまで
まっすぐ行く。



④ 下吉谷町の
人達の避難
施設

「鳥越ふるさと
センター」

まとめ

仏谷川で土石流が起きやすい。
下吉谷の人達の避難場所は、上吉谷の
鳥越、さとセンターだ。だがそのまま鳥越
、さとセンターに行こうと近道を通ると、土石流
のはん団に入ってしまう。だから、神社前から、県道へ
出る。そして、歩道を南の方へまっすぐ行くと、鳥越、さと
センターへ行くことができる。この道を通ると、土石流
にまき込まれることは無い。

今後の課題

調べた結果、土砂災害の可能性と、避難経路は分かった。だが、他の自然災害も調べてみたいと思った。

参考にした情報・資料

- ・白山市総合防災マップ
- ・白山市土砂災害避難地図

